

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策委員会 委員長 飯笹 壽久

1 昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済・日常生活ともに様変わりしています。県
2 内の経済状況も少しずつ状況は持ち直しつつありますが、まだまだ先行きは不透明であり、
3 新型コロナウイルスに対応したビジネス、人材不足等が県内企業課題は山積です。また、佐
4 賀県内においては、8月の大雨は2年前に匹敵する甚大な被害をもたらしました。毎年自然
5 災害の影響が出ており、ビジネスを継続していくためには、防災・減災への取り組みが必要
6 です。

7 まずは、災害時に迅速な対応をするために、連携の継続・拡大への取り組みを推進するこ
8 とで、早期の復旧、物資確保・供給をし、安心なまちづくりに繋げていきます。そして、若
9 い世代の防災・減災意識の向上のため、子育て世代に向けた親子参加型の防災事業を展開す
10 ることで、防災意識の向上で災害が子供に与える影響の軽減に繋がります。さらに、災害時に
11 必要となるボランティア不足を解消するために、大学・短期大学・専門学校との連携を進め、
12 ボランティア数の確保、学生への学びに繋げていきます。また、ビジネス分野においてはメ
13 ンバーの社業発展のために、メンバー自身の課題解決に向けた、セミナー等を開催すること
14 で、メンバーの学びや社業の発展につなげ、佐賀経済の活性化に貢献し、メンバー一人ひと
15 りが地域を担う青年経済人としての質の向上を目指します。

16 W I T H コロナの時代を生き抜き、より良い地域社会創りに貢献していくには、一般社団
17 法人佐賀青年会議所でだからこそできる事に挑戦し、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のも
18 と、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

22 [事業計画]

- 23 1. 防災事業の企画・運営（6月）
- 24 2. 新年会の企画・運営（1月）
- 25 3. サマーコンファレンスのアテンド（7月）
- 26 4. 例会の企画・運営（5月・9月）
- 27 5. 薩長土肥の企画・運営（11月）
- 28 6. 会員拡大・拡大目標全体40名・各委員会8名